

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1026	生涯学習推進啓発事業		01	一般会計	
			10	教育費	
33	だれもが生きがいを有する機会をつくる		05	社会教育費	
			01	社会教育総務費	
		教育委員会 生涯学習課	102	生涯学習推進事業	
			01	生涯学習推進啓発事業	
担当部課名	教育委員会 生涯学習課		細目	102	生涯学習推進事業
作成者氏名	奥井平和	連絡先	22-9679	細々目	01

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
学習意欲を持つ市民		市民の学習意欲に応えることで自己実現が図れる。学習機会が増え、参加者が増加する。
本年度事業内容	市民大学講座の開催。	
開始年度	平成 年度	終了年度
	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.32	0.32	0.32
人件費合計(A)	2,304	2,304	2,304
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,139	1,062	1,062
委託料	803	733	733
その他	336	329	329
合計(A+B)	3,443	3,366	3,366
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	3,443	3,366	3,366
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
市民大学講座の参加数	人	250	255	260			
大学講座開催数	回	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
市民大学講座の参加数	自己の教養を高めるための意識としての参加者数を意欲と捉える	人	250 目標 ()	255	260
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

講演会や学習会等は、教育委員会や関係団体がそれぞれ独自で実施をしているが、類似事業の統合や、魅力ある講師、講演内容向上の努力をしている。

評価	必要性	3	市民の学習意欲に応じて著名な講師による講演は心を豊かにし、市民の教養を高める意味があり、心待ちにしている市民も多い。ただ、同じような時期に講演が重なる場合があるなど、主催者相互が連携連絡をし、合同での事業開催や時期をずらす等工夫をすることが必要。	総合評価 D
	有効性	3		
	達成度	2		
	効率性	3		